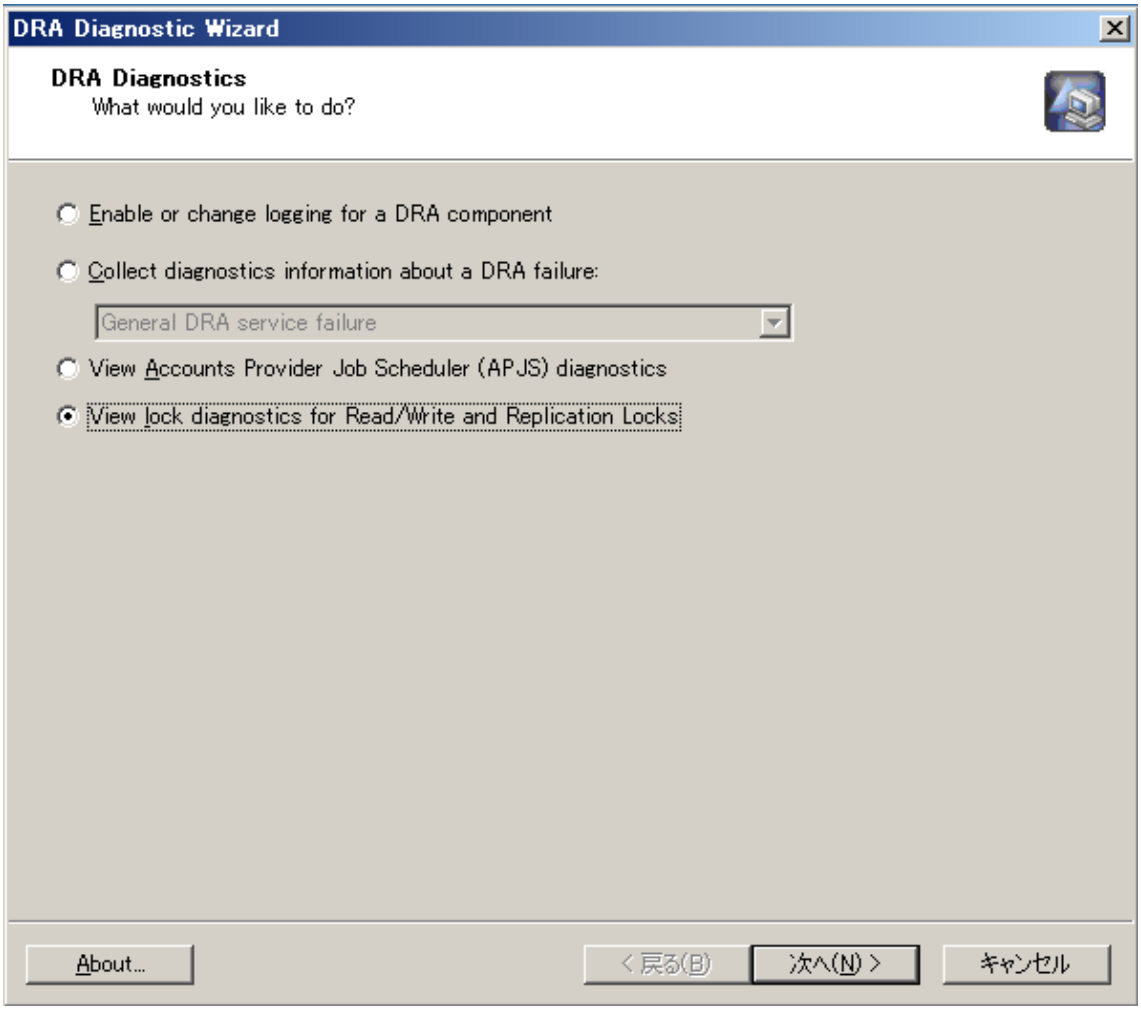
DRADiagnosticUtil による情報収集の手順　Ver.1.0

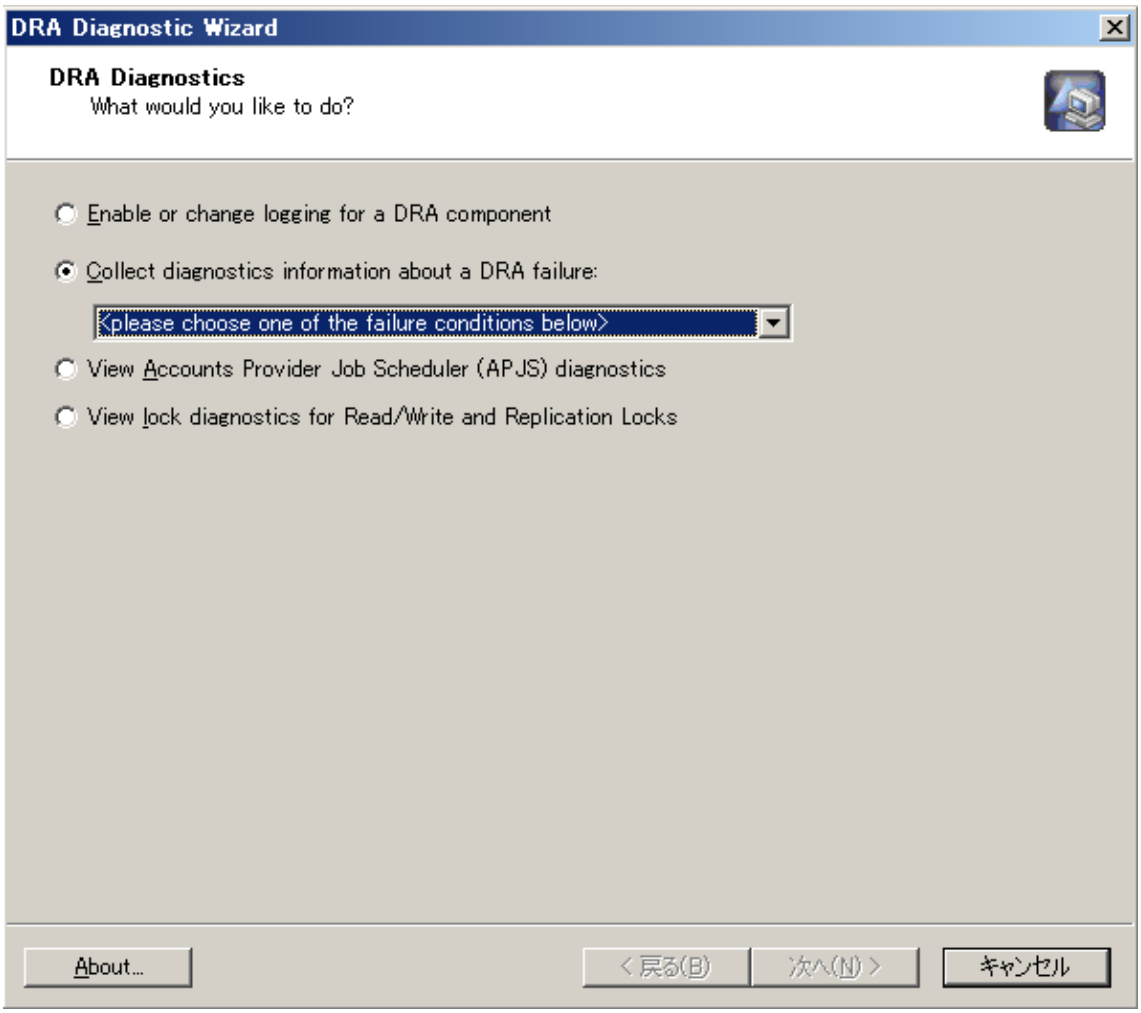
1. DRADiagnosticUtil の実行（下記の例は、DRADiagnosticUtil.exe ver.8.10.00.96）

- ✓ 管理者でログオン
- ✓ エキスプローラを起動
- ✓ {DRA Install Directory}/DRA ディレクトリ移動し DRADiagnosticUtil.exe をダブルクリックし起動します。
- ✓ DRA Diagnostic Wizard ダイアログが表示されます。



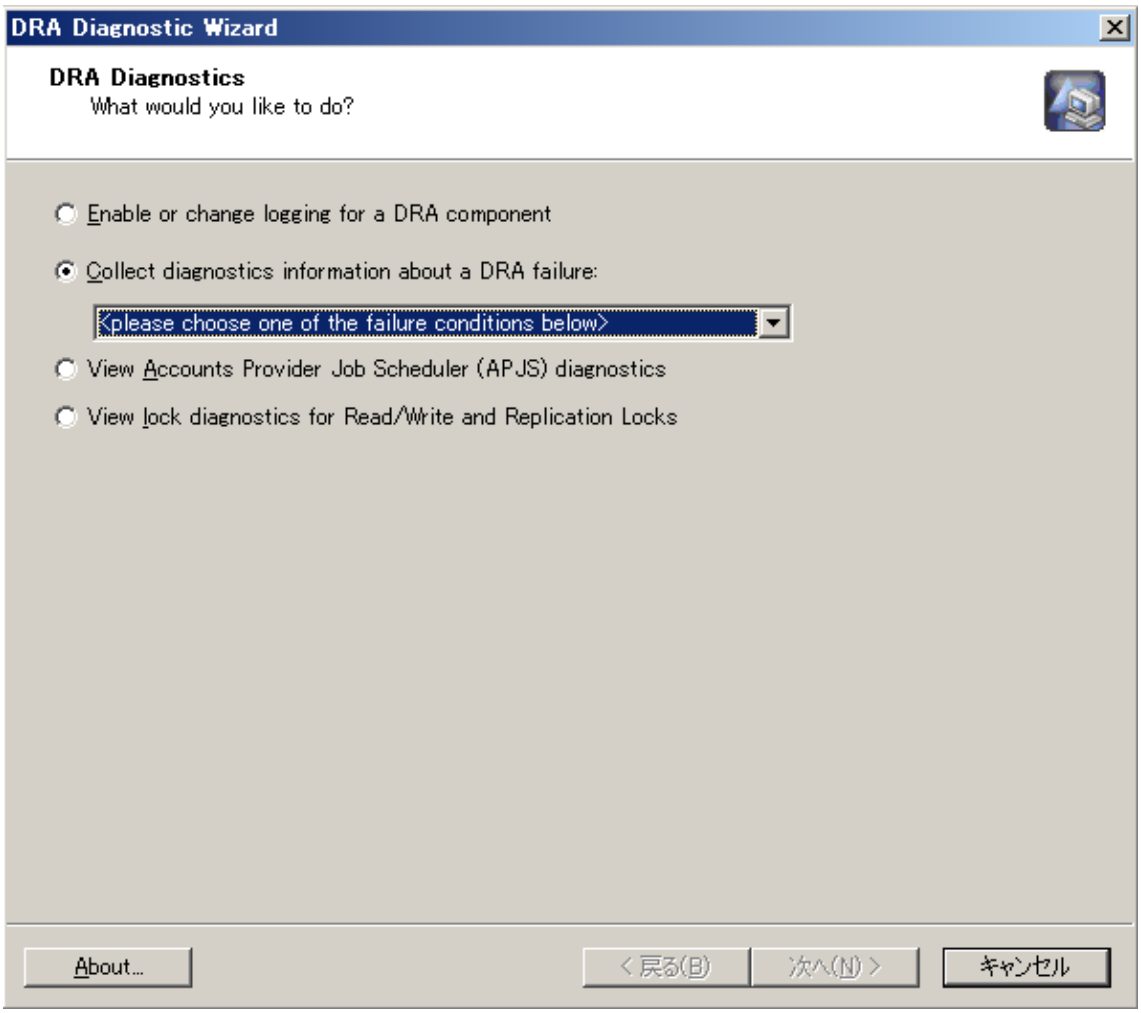
2. DRA Diagnostic Wizard ダイアログ

✓ "Collect diagnostics information about a DRA failure:" 項目を選択

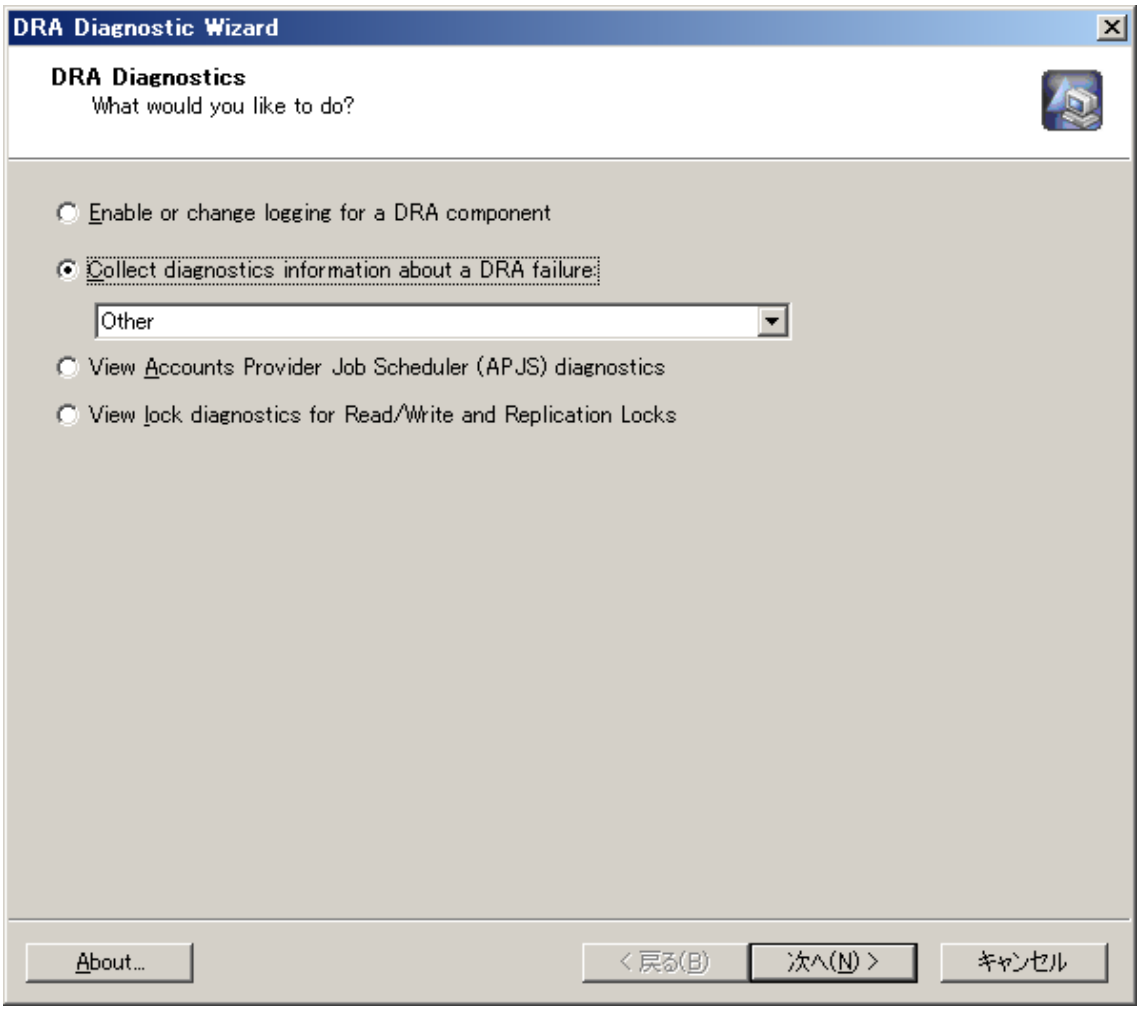


✓　"Collect diagnostics information about a DRA failure:" のプルダウンメニューの "Other" をリストから選択

※　弊社サポート部門よる指示がありました場合は、その内容の項目をリストから選択してください。

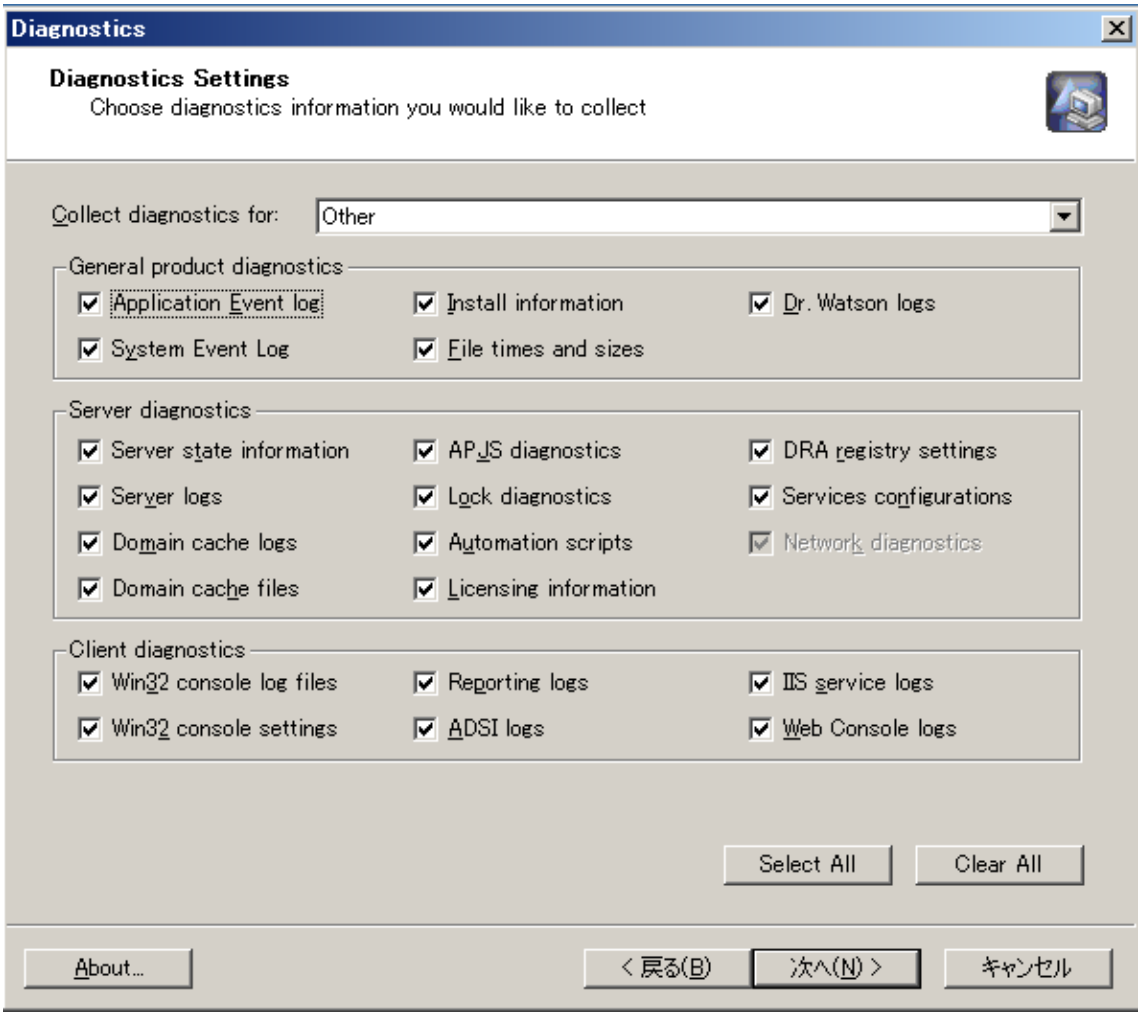


✓　"Other" を選択し、"次へ" をクリック



3. Diagnostic Settings ダイアログ

✓ Diagnostic Settings ダイアログが表示されます。



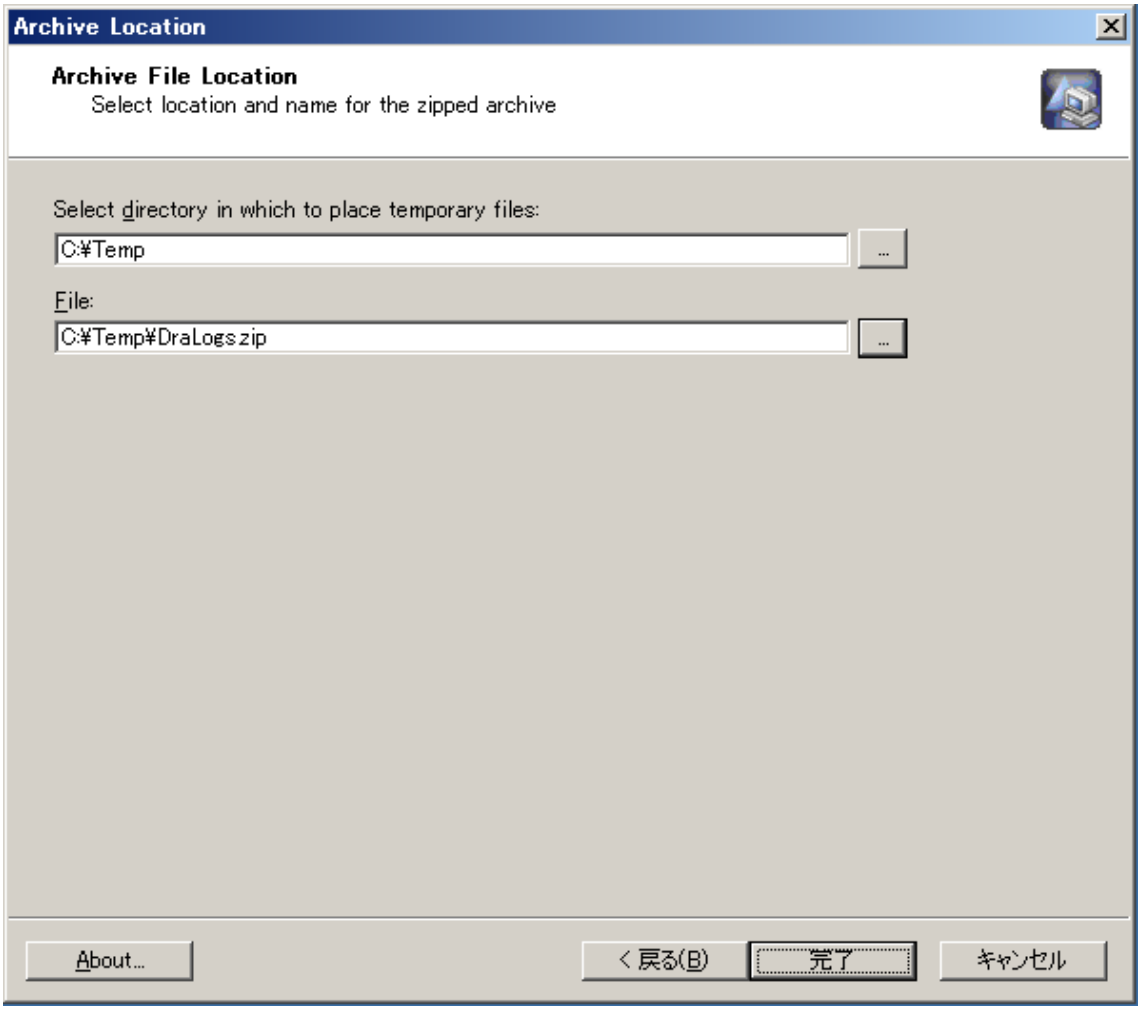
✓ "Collect diagnostics for:" プルダウンメニューにて "Other" で、すべての項目が選択されていることをご確認いただき、"次へ" をクリック。

※ 弊社サポート部門よる指示がありました場合は、その内容の項目をリストから選択してください。

※ 各項目の説明は、"Directory and Resource/Exchange Administrator 診断ツール" ページをご参照ください。

4. Diagnostic Settings ダイアログ

✓ Archive File Location ダイアログが表示されます。



✓ "Select directory in which to place temporary file:" 項目に情報収集時の一時ファイル保存先のディレクトリを指定します。

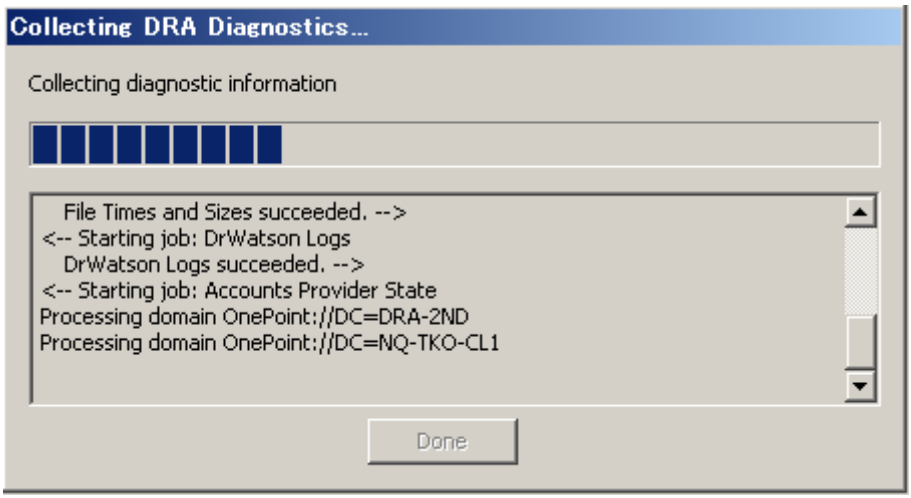
✓ "File:" 項目に情報収集したファイル名とディレクトリを指定します。(デフォルトのファイル名は、"DraLogs.zip" になります。)

✓ これら項目の指定内容に問題なければ"完了"をクリック。

5. Collecting DRA Diagnostics ダイアログ

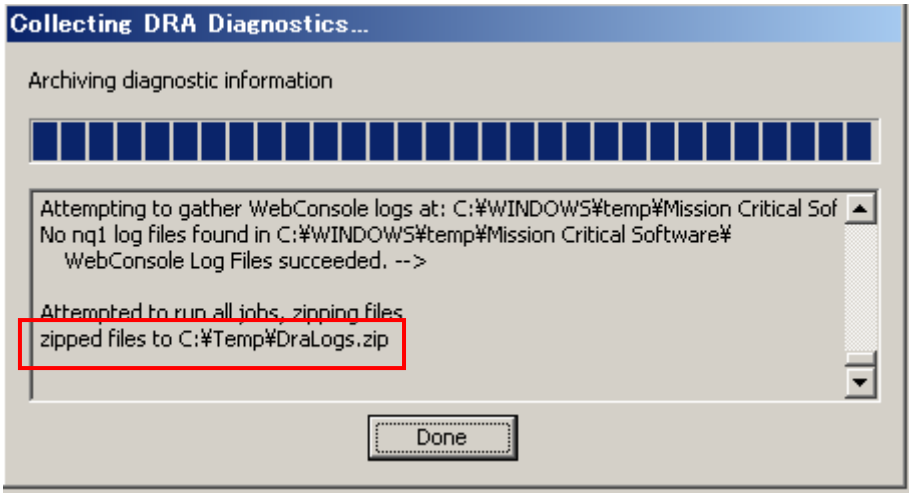
✓ 新たに Collecting DRA Diagnostics ダイアログが表示され情報収集を開始します。

※ 情報収集中は、コマンドプロンプトの画面がいくつか表示されます。

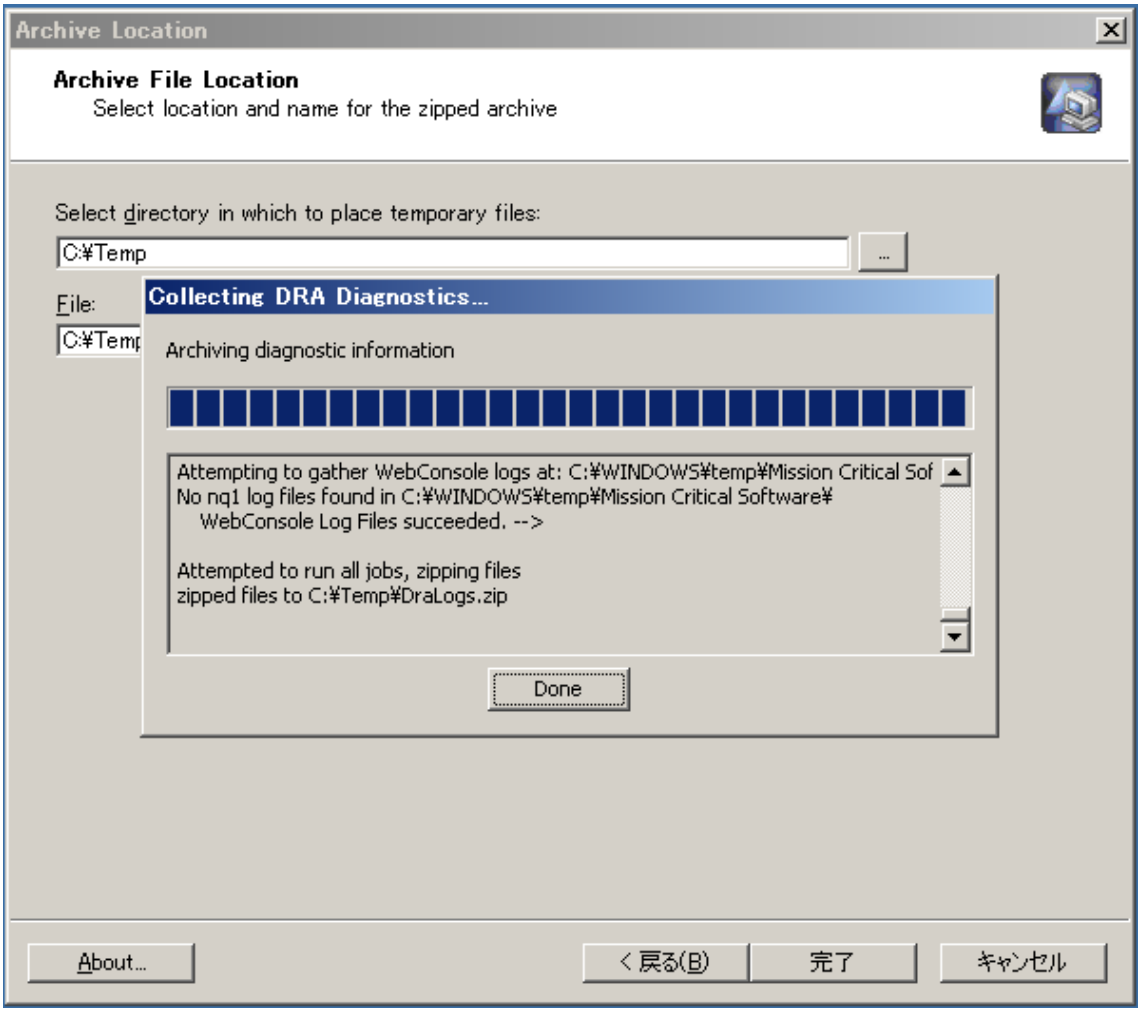


✓ 情報収集が完了しますと画面下の ″Done″ 項目が選択可能となります。

✓ 作成されたファイルを回収してください。



✓　″Done″ をクリックすることで情報収集作業は完了いたします。



✓　″Done″ をクリックし作業完了することで、DRADiagnosticUtil に関連した画面はすべて終了いたします。